



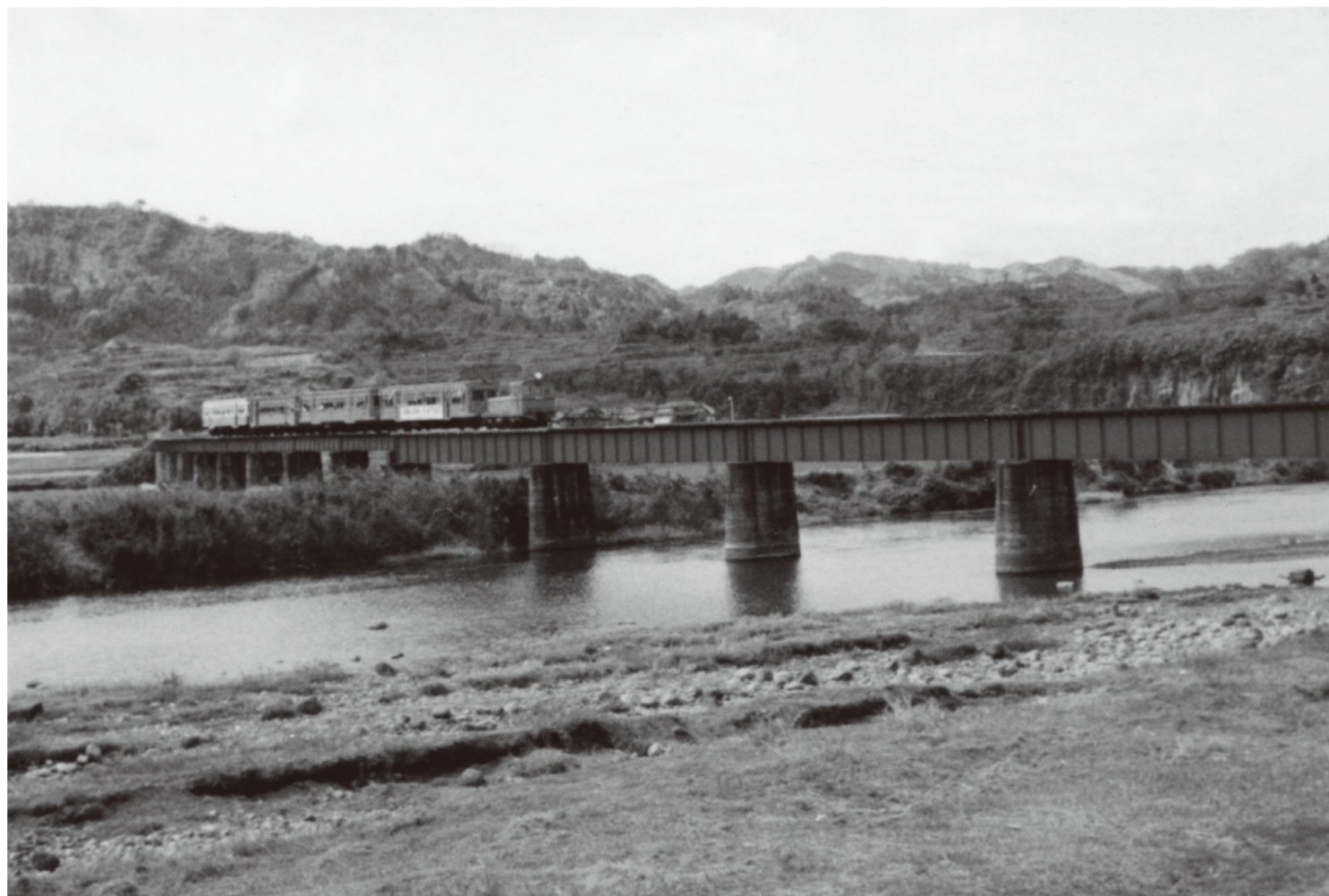
緑川鉄橋 / 撮影日 不明  
日和瀬の緑川鉄橋を渡る  
5号機関車  
熊本バス株式会社所有



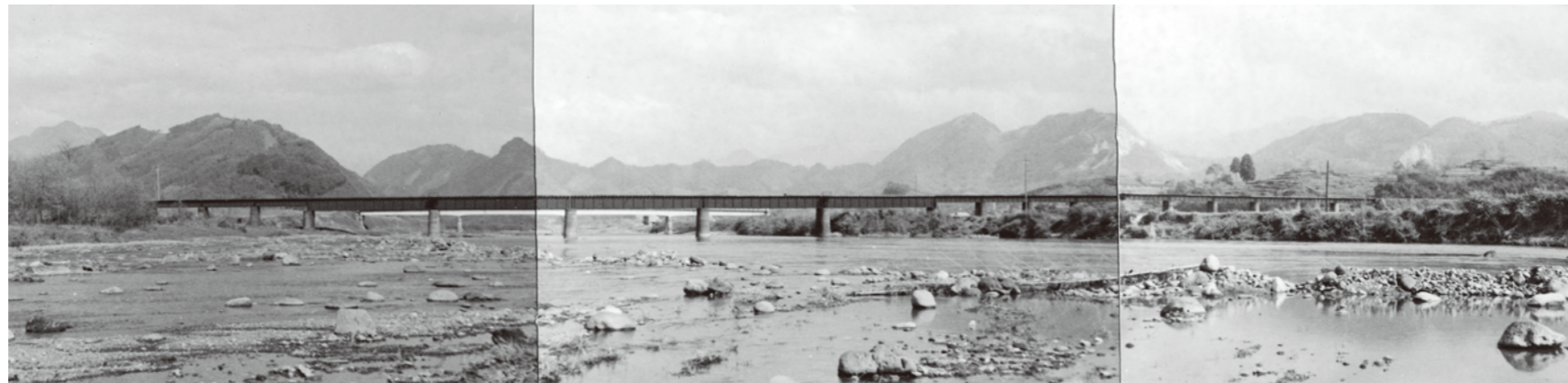
南甲佐-佐俣間の第一津留川鉄橋 / 撮影日 昭和39年1月頃  
DC251 牽引の貨物列車。  
木々の緑に映えるオレンジ色の車体  
熊本バス株式会社所有



第1津留川橋脚 / 撮影日 平成25年頃  
南甲佐～佐俣間に今もひっそり  
仲良くそびえ立つ橋脚  
熊本バス株式会社所有



緑川鉄橋 / 撮影日 昭和39年3月31日  
窓をあけ、記憶に残す最後の景色  
熊本バス株式会社所有



緑川鉄橋 / 撮影日 不明  
熊延鉄道の中で最長を誇る緑川鉄橋  
熊本バス株式会社所有



緑川鉄橋 / 撮影日 不明  
小川島から甲佐方面を望む  
熊本バス株式会社所有



六角隧道 / 撮影日 不明  
落石除けとして建造された。  
階段は補修の為に設けられた  
熊本バス株式会社所有



六角隧道 / 撮影日 不明  
現在、熊延鉄道を偲ぶなかで  
原形を留める数少ない遺構  
熊本バス株式会社所有





第2津留川鉄橋 / 撮影日 不明  
奥に見えるアーチ橋は  
現国道218号の馬門橋  
熊本バス株式会社所有



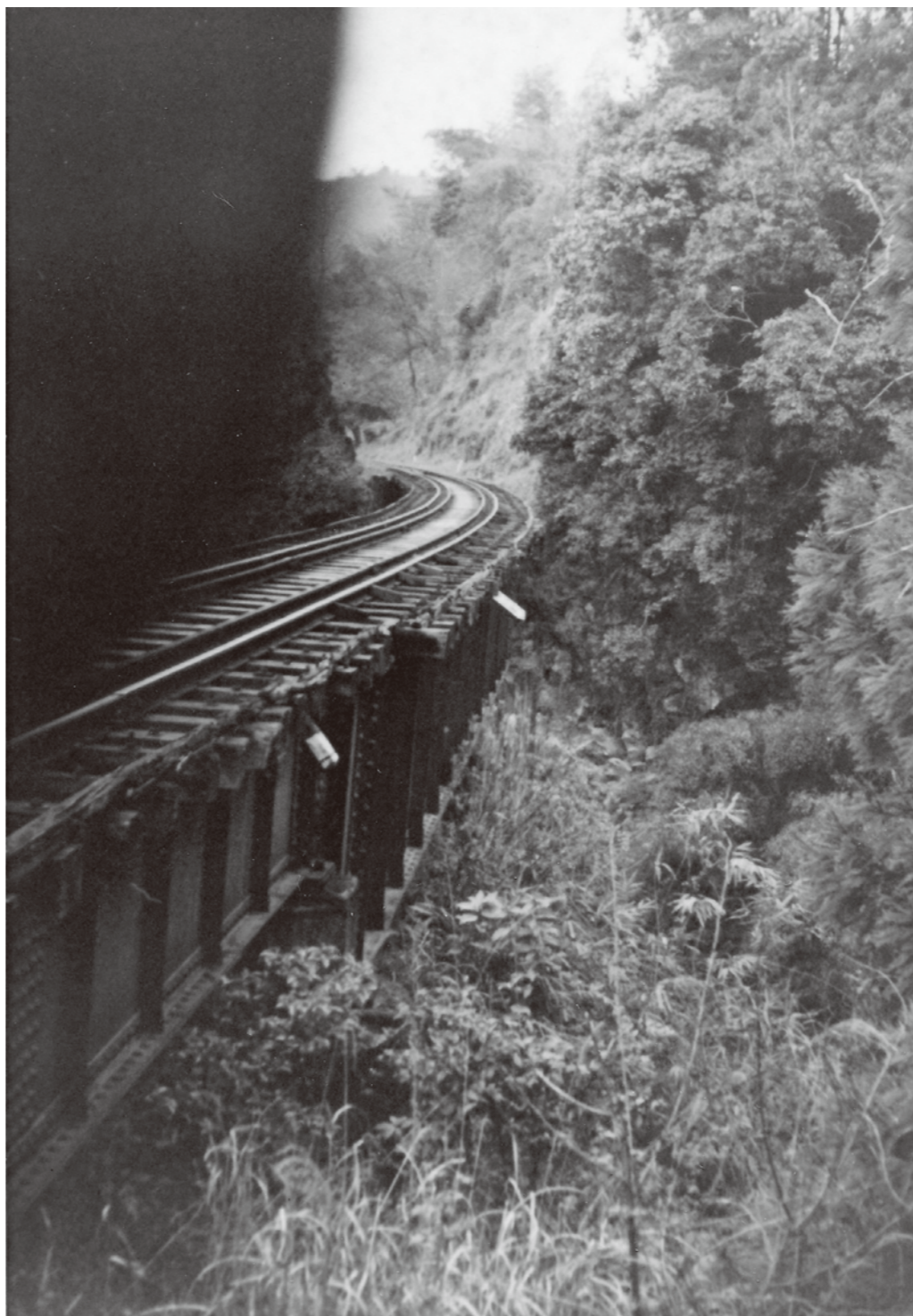
第2津留川鉄橋 / 撮影日 不明

津留川下流から望む

熊本バス株式会社所有



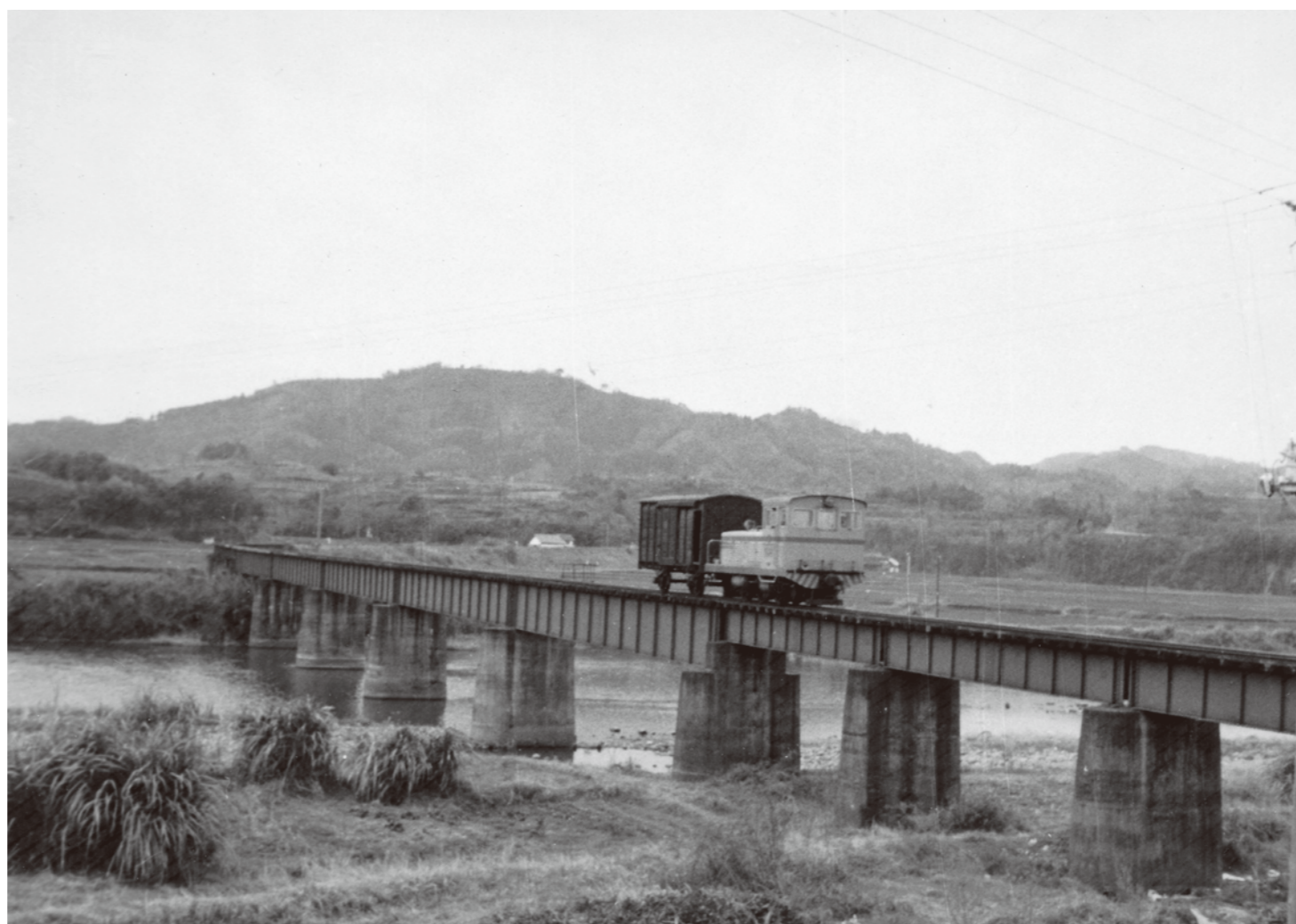
第2津留川鉄橋 / 撮影日 不明  
河川敷から撮影したもの  
熊本バス株式会社所有



第2津留川鉄橋 / 撮影日 不明  
線路横から佐俣方面に向けて  
撮影したもの  
熊本バス株式会社所有



緑川鉄橋 / 撮影日 昭和39年3月31日  
南甲佐駅へ向かうお別れ列車。  
先頭客車に横断幕が見える  
熊本バス株式会社所有



緑川鉄橋 / 撮影日 不明  
貨物を牽引する大活躍の  
ディーゼル機関車  
熊本バス株式会社所有



佐俣-南甲佐間 / 撮影日 不明  
運転席から望む緑川鉄橋  
熊本バス株式会社所有



第1津留川鉄橋 / 撮影日 不明  
橋脚の高さは  
約 20 メートルあった  
熊本バス株式会社所有





緑川鉄橋 / 撮影日 昭和39年3月  
廃止までの数ヶ月、  
感謝の横断幕を車両に付けて走行  
熊本バス株式会社所有